



## Contents

e-キャンパスセンター長寄稿：レジリエンスは筋力だ

—BYOD環境下で身に着ける「代替案」を見つける力—

教員寄稿：推しからはいるICT！

Assistants' Voices -現役アシスタントの声-

【特集】マンガでわかる！

大学生活を救う！ 「PC・スマホ」の超キホン

【新シリーズ】教えて！ PC教室授業アシスタント

第1回 クラウド活用のコツ ここまで！？見せちゃいます！

e-キャンパスセンター TOPIC 2025

e-キャンパスセンター 統計 2025

e-キャンDX

CHECK!

# レジリエンスは筋力だ

## BYOD環境下で身につける 「代替案」を見つける力



英語圏で人の性質や能力について議論する際、よく話題になる言葉に「レジリエンス（resilience）」という言葉がある。日本語に訳すとすれば「回復力」と呼ぶことができる能力である。一つは、主に身体的な強さや回復能力を意味する「体力」や「回復力」、もう一つは「精神力」で、意志や集中力に関わる心のタフネスを表す。

私がe-キャンパスセンターに関して最も焦点を当てたいのは、同じ回復力でも、個人の回復能力ではなく「社会的な強靭性」、すなわちシステム全体が機能不全に陥った際に、コミュニティや組織全体として適応し、機能を維持する能力である。



### アサヒGHDの事例に見る「社会的レジリエンス」

最近、日本を代表する飲料メーカーであるアサヒグループホールディングスはサイバー攻撃を受け、システムへのアクセスを遮断され、復旧のための身代金が要求された。攻撃の具体的な手法は明らかにされていないが、報道によると攻撃者はまず、ある拠点のコンピュータシステムに侵入するために必要な認証情報を盗み出した。これにより、アサヒのメインコンピュータネットワークに侵入するための秘密の信頼された経路を得た。侵入後、攻撃者はネットワーク内を密かに移動し、様々なツールを用いてより多くの制御権と特別な権限を獲得した。重要なファイル（約27GB）を盗み出した後、ランサムウェアを実行し、システムシャットダウンを行った。これによりプログラムが重要な企業データを暗号化しロックした。最後にバックアップファイルを削除し、同社のシステム復旧を困難かつ遅延させた。同社は注文処理・出荷・コールセンター業務を停止せざるを得なかった。復旧作業は現在も継続中だが、コンピューター発注システムが停止したため、彼らは紙とペン、そして旧来のファックス機で注文を集めたのである。多くの観測筋はアサヒの財務破綻を予想したが、結果として確かに損失は出たものの、極めてローテクな旧式技術を代替手段として活用したのだ。この一見解決不能な問題への対応は、私の見解では非常に日本のあり、レジリエンスの真髄とも言える『社会的な強靭性』と深く関連している。

# 日本的な強靭さの正体

実際、2017年のニューヨーク・タイムズ紙の記事

「Encountering Robots While Still Using Fax

Machines in Japan」[日本ではファックスを使いながらロボットに出会う]というタイトルが、その考え方を表している。日本は最先端技術で有名なのに、古い技術をなかなか捨てないのは実に奇妙だと。特に顕著な例が、日本人が今もファックス機を使い続けていることだ。しかし、この旧式技術が事業継続計画 (BCP) の要として機能したのである。この話を挙げるのは、学生たちにこうした回復力、すなわち「代替案を見つける力」を考えることが重要だと思うからだ。



## 「スマホ完結」の脆さとBYODの真の目的

私は学生がいつも課題の提出をギリギリまで先延ばしにすることに少し危機感を覚える。実際、私は学園大学を冗談めかして「ギリギリ学園」と呼んだりする。学生が提出期限ギリギリまで先延ばしにすると、必ず数名の学生に何らかの問題が発生し、課題を提出できなくなる。私は余裕を持った締切を設定するよう心がけているが、こうした学生が社会人になって仕事をする際にも同じことをすれば、組織的なリスクを引き起こす可能性がある。さらに、学生がスマートフォンだけで全ての課題をこなそうとすることもそのような問題を悪化させかねないと考えている。

BYOD (Bring Your Own Device/個人所有端末の持ち込み) 制度を導入する理由の一つは、学生のレジリエンス（回復力）を育むためである。問題が発生した場合、パニックにならず、別の方で課題を完了させる方法を見つけることが重要だ。学生のスマートフォンが故障した場合、すぐにパソコンで課題を完了させる方法を探すべきである。パソコンが故障した場合は、貸出用パソコンを借りて課題を完了させるなど、異なる端末からアクセスできるようデータをGoogle ドライブなどに保存することは危機管理の基本だ。

## レジリエンスは鍛えられる「心の筋肉」である

レジリエンスは生まれ持ったものではなく、筋肉のように時間をかけて学び、練習し、強化できるスキルである。メンタルフィットネスと考えてほしい。スポーツのトレーニングと同じように、良い習慣を実践し柔軟性を保つことで、ストレスへの対処能力を高める脳のトレーニングが可能である。困難な状況をうまく乗り切るたびに、単にその場をやり過ごすだけでなく、次の課題に必要な精神的な強さを築いているのだ。

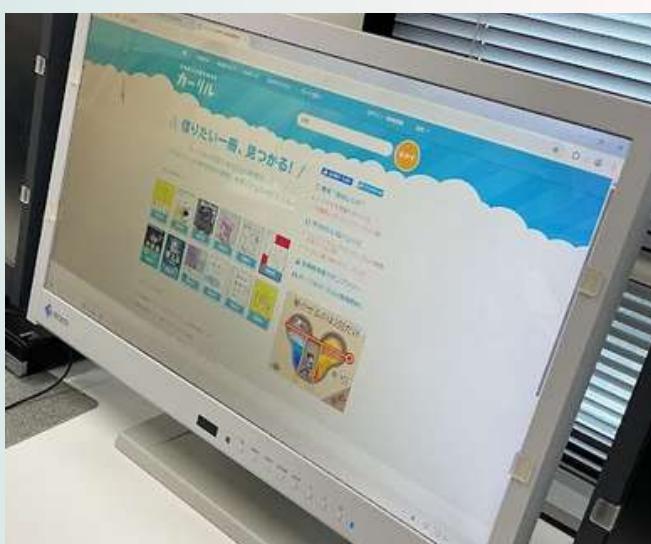
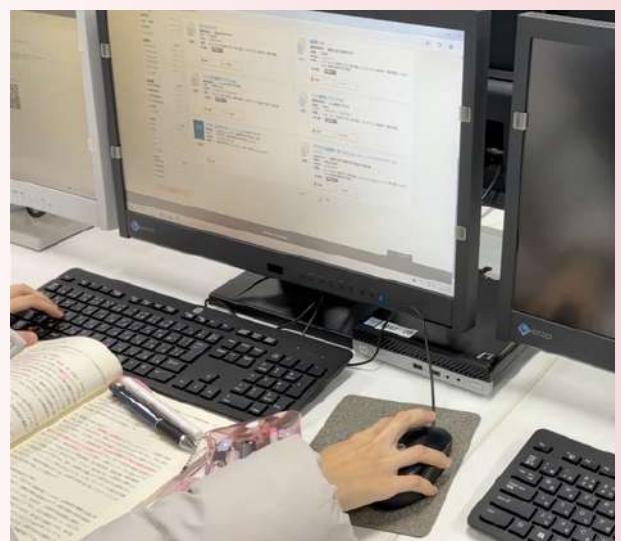
# 推しからはいるICT！



商学部 講師  
山田美幸先生

情報とはなんぞや。一般的な国語辞典を紐解くと、その語釈の1つに「ある特定の目的について、適切な判断を下したり、行動の意思決定をするために役立つ資料や知識（大辞林第4版）」とある。今日の夕飯は何にしようかしら？ どこか旅行に行きたいわ！ 自身の行動の為に、人間は何らかのレベルで情報を集め、判断する、そして、行動する。図書館は人々に情報を提供する社会的インフラとして機能してきた。

私の専門分野（言い換えると「推し分野」）は図書館情報学である。こんな風に立て看板を掲げていると、ICTに詳しい人に見えるらしいし、デジタルガジェットをガンガン使ってそうに思われる模様。しかし、実は必要最低限度でしか使っていない。スマホで写真を撮りはすれど、動画編集なんてほぼ行わない。講義用にパワポのスライドを編集はすれど、プログラミングなんてなんてもってのほかである。情報生産ツールとしてのICTからむしろ遠ざかりたい性分なのである。



しかし、情報を集めるツールとしてのICTは別である。紙のカードで探していた蔵書目録はコンピュータ目録（いわゆるOPAC）となった。調べる為の辞書事典は軒並データベース化が進んだ。図書館司書は「紙の本が好きなのであって、コンピュータは苦手」なんて言っていられない。「利用者の求める情報であれば、草の根分けてでも探し出せ！ それこそ司書だ！」と学生に対して言っている手前、私も勉強するしかない。お陰で、ネットワークの仕組みやデータベースの構造など、ITパスポートレベルの知識は身につけた（はず）。

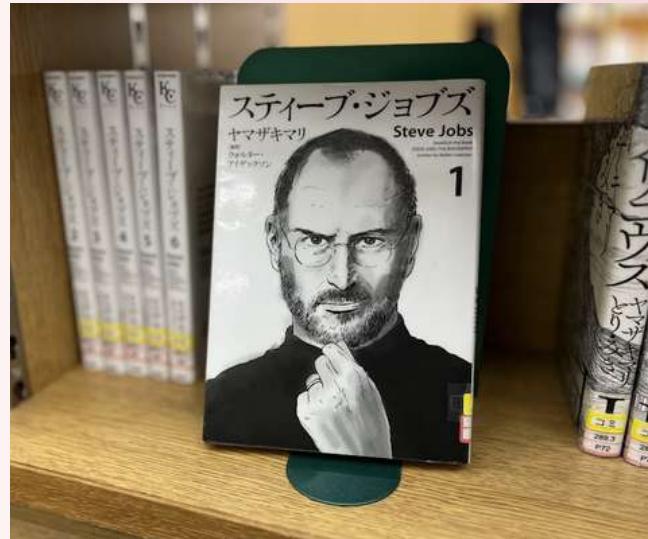
目下、私の「推し」はシロイルカ（ベルーガ）という鯨類の動物である。コロナ禍、シロイルカとペンギンが硝子越しに出会うという、ネット上に公開された画像情報（\*）に触発され、シロイルカを知りたい行動が一気に起きてしまった。シロイルカに関する本を探しては片っ端から購入する。シロイルカに関する論文をインターネット上で探しては読み散らかし（オープンアクセス、有り難う！）。国内でのシロイルカ展示水族館4館を全て訪問した。「推しのことを知りたい」という邪な思いから、苦手なICTを何とか駆使している人生なのである。

＜＊編集部注：＞

コロナ禍で休館中のShedd水族館が公開。館内散歩をするペンギンが、自然界では本来出会うことのないシロイルカと水槽越しに対面した様子が話題となった。



（推しのシロイルカの赤ちゃん  
於：しまね海洋館アクアス  
写真提供：山田美幸先生）



（付属図書館所蔵『スティーブ・ジョブズ』  
於：1階漫画コーナーコミ+（ComiTasu））

もう一つの推しは、パーマがトレードマークのとあるバイオリニストさん。彼が「Appleで絵を描くのが楽しい！」の一言から、私のデジタルツールはほぼ全てApple製品である。Apple製品を使うだけに飽き足らず、Appleの創業者スティーブ・ジョブズの伝記マンガ『スティーブ・ジョブズ』（ヤマザキマリ著、講談社）を付属図書館に入れてもらった（皆さん、読んでね）。

改めて。私は今でもICTが得意ではない。でも、「推し」きっかけで、一通りのデジタルツールは使いこなせるようになった。とある文系研究者のICTライフが参考になれば、これ幸い。

さ、次は「推し」を通して、生成AIでも勉強してみましょうかね？



（情報サービス演習（情報検索）の授業の一コマ）

# ASSISTANTS, Voices

14号館4階パソコン教室では、授業の円滑な運営のため、学部生が授業サポートやカウンターでのPC貸出、ヘルプデスク業務に従事しています。日々、利用者を最前線で支える現役アシスタントたちから届いた「声」をご紹介します。

## 福田 唯奈

経済学科 3年

将来は情報系の仕事に就きたいと考え、その第一歩としてアシスタント業務に携わるようになりました。ほとんど知識のない状態からのスタートでしたが、実践を重ねる中で少しずつ知識も技術も身につけることができました。わからないことがあっても心配はいりません。先輩や先生に相談したり、時には受講生の方と一緒に考えたりすることで、理解を深めながら成長することができます。



## 赤星 翔真

ライフ・ウェルネス学科 4年

アシスタント業務を通して情報系の知識だけでなく、コミュニケーション力や伝える力を培うことができました。PCについて自信はなかったですが周りの方の支えもありながら学生をサポートでき、自分のためにもなる有意義な時間を過ごせました。スキマ時間に働くこともでき、これからに必要なスキルを学べる良い環境です。



## 中村 洋介

リーガルエコノミクス学科 4年

相手が本当に伝えたいことに耳を傾け、求められたアドバイスをわかりやすく伝える。アシスタント業務を通じて得られたこの経験は、さまざまな物事に応用できました。パソコンのスキルを高めながら、この貴重な経験ができるのは、eキャンパスセンターならではの魅力だと思います。ぜひ、私たちと一緒に働いてみませんか！



**MORE INFO**



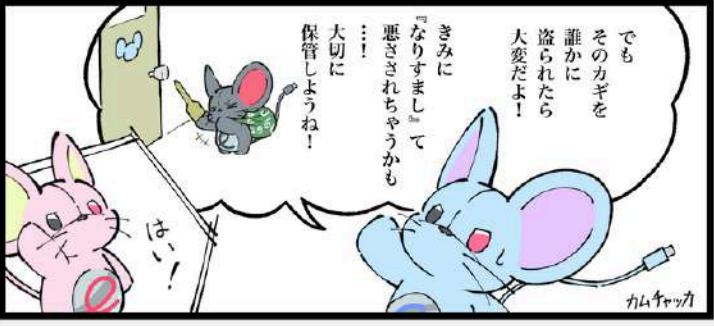
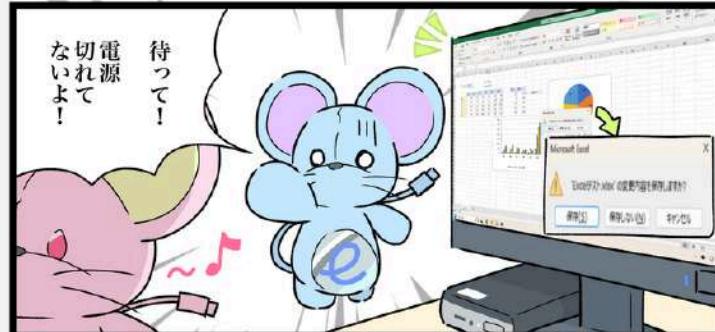
紹介ページ（学生向け）

紹介ページ（教員向け）

# 【特集】マンガでわかる！ 大学生活を救う「PC・スマホ」の超キホン

共用PC「電源切ったつもり」が一番あぶない！

学内アカウントってなんですか？



e-キャン  
ゆるキャラ  
★紹介★



e-キャン歴：約10年（実はベテラン）  
性格：真面目でしっかり者。  
困った人を放っておけない。



e-キャン歴：推定5年  
性格：明るくて人懐こい。早とちりしがち。  
楽しいコトが大好き。

本作作画担当



カウンターにて作画中の  
カムチャッカ氏

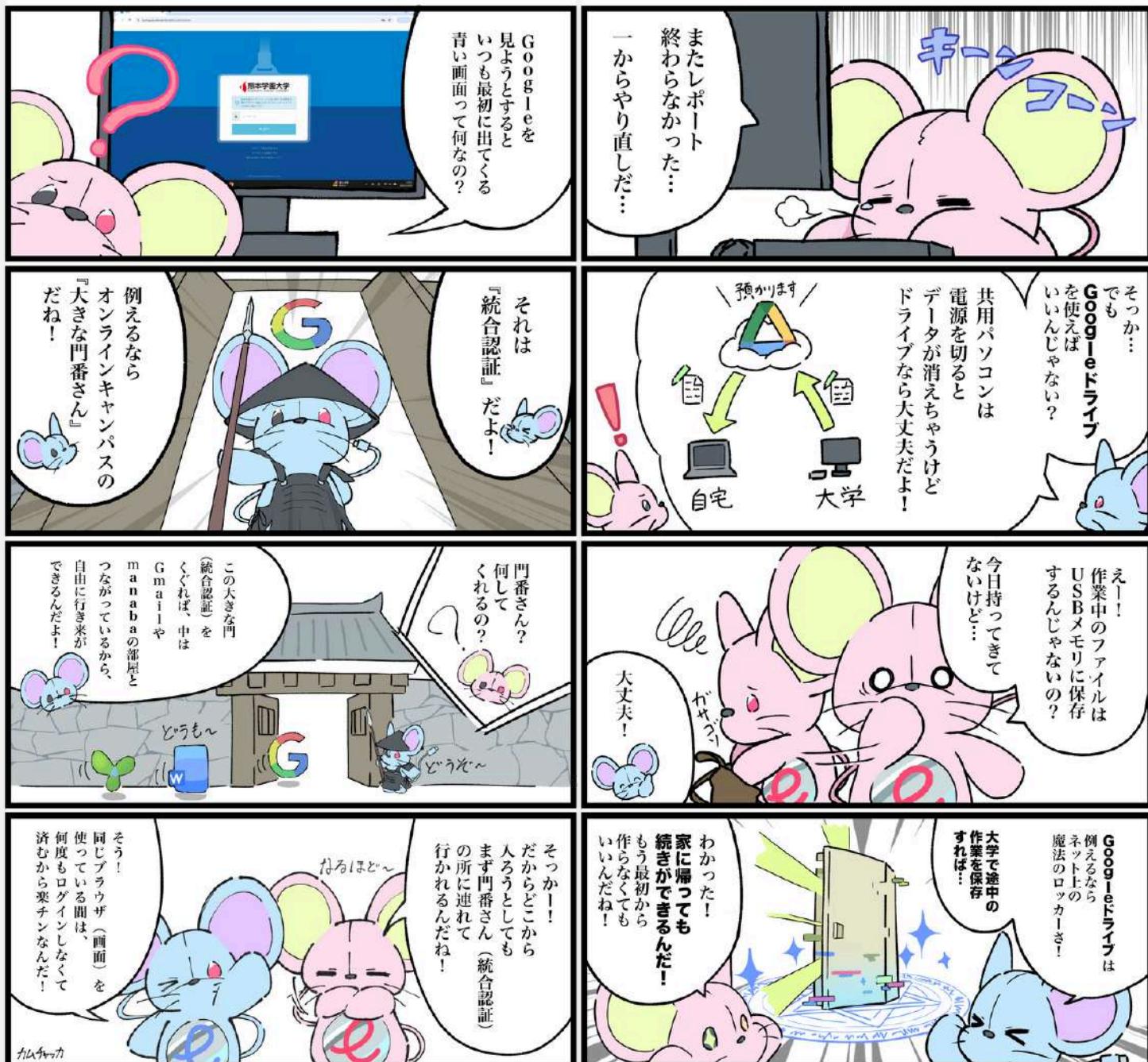
Keuter  
Kumi



e-キャンサポートページはこちら

## 統合認証とGoogle・manabaの関係

## ファイルが消えた！？



※一定時間経過したり、デバイスやブラウザを変えたりすると再ログインが必要です。

## 4コママンガ誕生秘話



この「トラブルあるある」マンガは、PC教室授業アシスタントたちのリアルな声から生まれました。



日々授業やカウンターで質問を受ける中、彼らが感じていたのは、「マニュアルにはあるけど、辿り着けない…！」というもどかしさ。



「もっと『キホン』から伝えたい」「もっとわかりやすく届けたい」そんなアシスタントたちの切実な熱意を、マンガへと織り上げたのが本作だよ。



伝えたいことと伝えられることはこれまで揺れていろんな意見が出たよね。そしてボツや修正の嵐！（笑）



そんな中、生き延びた厳選4選をお届けしました。登場する「チューミちゃん」は、かつて質問に来てくれたあなた自身かも！

このマンガが、デジタルの「困った」を解消するヒントになれば嬉しいです。学生の皆さんオンラインキャンパスライフが、より快適なものになりますように！（好評なら続編も…！？感想お待ちしています！）

## 第1回 クラウド活用のコツ

ここまで！？ 見せちゃいます！



増え続けるデータやファイル・・・必要な時にすぐ取り出せますか？ どのように管理していますか。クラウドストレージを上手に使いこなしている4年生アシスタントに普段の利用方法を聞いてみました！ …お二人ともこれなら卒業前のデータ移行もスムーズですね！



リーガルエコノミクス学科  
4年生 中村洋介さん

★ファイル名／フォルダ名先頭に接頭語（A,Bなど）をつけると並び替えて整理しやすいです。  
★消えて困るファイルは別の場所に必ずバックアップを取ります。

## ①OneDrive ②Google ドライブ ③PC本体 の三刀流で使い分けバッチャリ！

★ PC版Google ドライブの導入がコツです。Word等をブラウザを経由せず、いつものソフトで直接編集でき、自宅と大学間の作業連携がとても楽になります。

★MSOffice多用のため OneDriveをメイン、Google ドライブをサブとして使い分けています。クラウドの恩恵を受けつつ、クラウドで扱いづらいファイルはPC本体にも保存しています。

★データ整理は必須スキル。少しずつ整頓する習慣が、将来の自分を助けてくれます。



リーガルエコノミクス学科  
4年生 前村純輝さん

# e-Campus Center Topic 2025



## 自習コーナー壁紙リニューアル

2024年度のラウンジ形式へのレイアウト変更に引き続き、落ち着いた雰囲気のシックな木目調の壁紙へとリニューアル。BGMの流れる中、リラックス&集中して自習できるスペースです！

## データサイエンス サポート開始

1年次全学部共通の情報系科目「数理・データサイエンス・AI入門」が遠隔授業で新設されたことに伴い、e-キャンパスセンターにてPC操作のサポートヘルプデスクを開設、学生アシスタントが鋭意、準備してお待ちしています。

受付時間：開講週の木曜13:00～17:30



リーガルエコノミクス学科3年 下浦さん

## センター内教室案内が見やすく



館内の案内掲示を見やすくリニューアル。  
新学期特有の「教室がどこかわからない」が  
減りました。

## 季節のデコレーション

e-キャンパスセンターでは、季節の移り変わりを感じる飾り付けや、ゆるキャラがひっそりと登場しています。集中した時の息抜きに、この静かな変化を楽しんでいただければ幸いです。



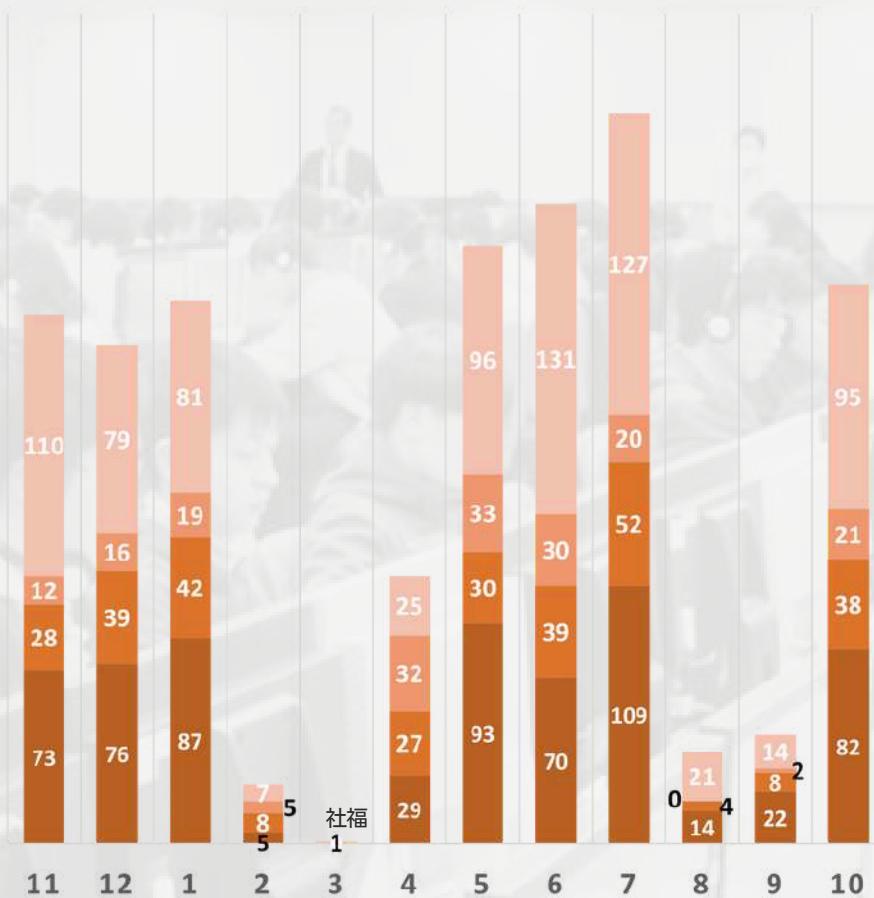
# e-Campus Center 利用統計2025



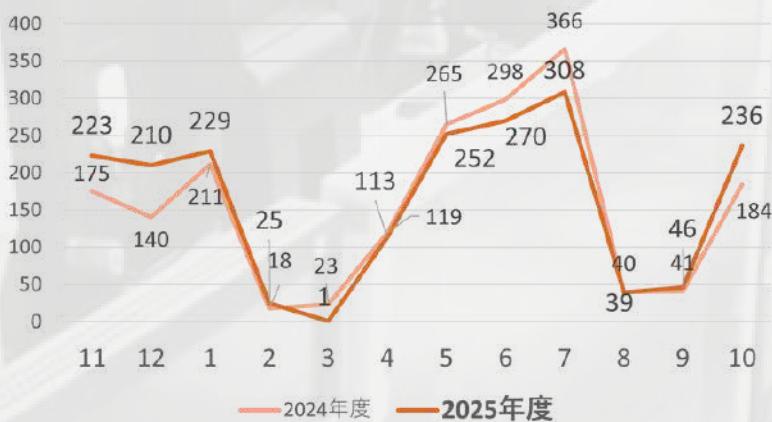
## ノートPC貸出

### 学部別貸出利用者数

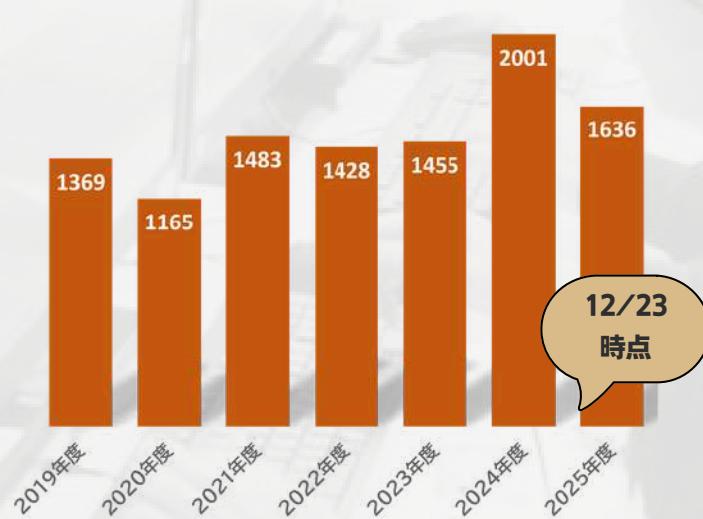
■ 商学部 ■ 経済学部 ■ 外国語学部 ■ 社会福祉学部



### 月別ノートPC貸出回数比較 (対前年比)



### 年間貸出総数推移



12/23  
時点

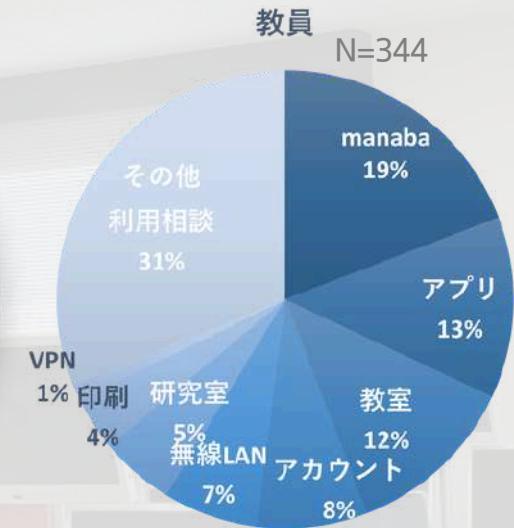
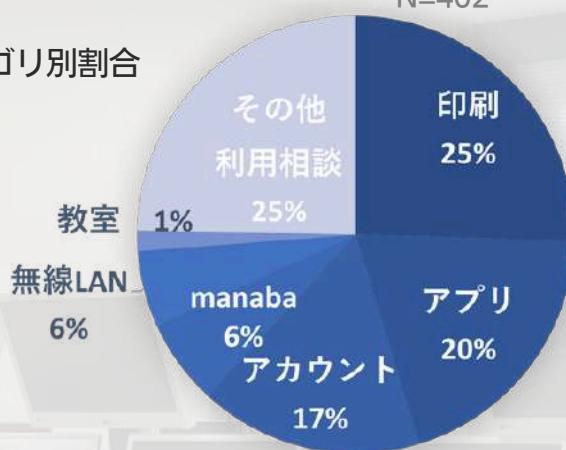
コロナ禍の減少から従来の貸出数に戻り、2024年度は過去最高の2001台を記録。BYOD移行期の今年度も12月時点で既に例年水準を超えています。

# e-Campus Center利用統計 2025



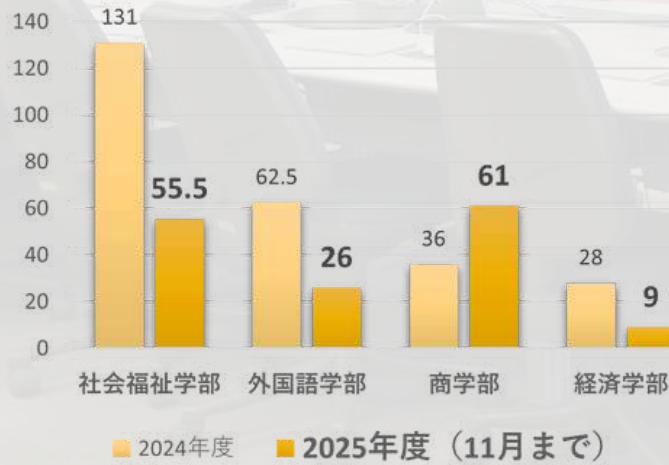
## ヘルプデスク

問い合わせ内容 カテゴリ別割合  
2025/4~11



大判印刷 (学部利用のみ掲載) 学会発表やゼミ活動で活用されています

学部別大判印刷枚数 (A1サイズ換算)



e-キャンパスセンターでは  
すべての申請手続をオンライン化しています。

e-キャンパスセンター（情報教育課）では、これまで進めてきたデジタル化が本年度をもって完了する予定です。紙で行っていた申請や承認をオンラインで完結できるようにしたことで、手続きの見通しが立ちやすくなり、より一層、学生・教員ともにスムーズに対応できるようになりました。この変化により、PC教室やヘルプデスク業務の事務処理が効率化され、現場ではより多くの時間を「学びを支える本来の業務」に充てることが可能になりました。

DXとは、単に業務の効率化ではありません。“困っている人がすぐに助けを得られる環境”をつくること、“学びを止めないしきみ”をつくることが、学びの循環を生み出します。

人の時間と知恵を解放し、学びの可能性を広げること。そんな価値の転換(X)が、e-キャンパスセンターのデジタル化から着実に始まっています。

## Contact

📞 (096)-364-8136

✉️ info@kumagaku.ac.jp

🌐 www.ecc.kumagaku.ac.jp/

📍 14号館4階 e-キャンパスセンター